

# 科学博物館講座

[講座紹介] 愛媛県総合科学博物館の学芸員による講座です。調査研究の成果や展示をとおして自然や科学について学ぶことができます。

時間

木曜日 10:00~12:00

場所

科学博物館  
2階第1研修室

定員

60名

受講料

2,100円

回	日 程	テーマ（内 容）／講 師
1	5月29日	<p><b>「来島海峡を通る船を導く光について」</b></p> <p>来島海峡を航行する船を安全に導く光（灯台、潮流信号所など）について紹介します。</p> <p><b>講師 安永 由浩（科学・産業研究グループ専門学芸員）</b></p>
2	6月19日	<p><b>「からくり人形の動く仕組み」</b></p> <p>からくり人形はどのような仕組みで動いているのでしょうか。動くために必要な動力であるばねゼンマイの仕組みから、力を規則正しく歯車に伝達する調速の仕組み、方向転換や首振りをする機構などを実験を交えて紹介します。</p> <p><b>講師 藤本 光章（科学・産業研究グループ担当係長）</b></p>
3	7月10日	<p><b>「鉱業関連展示物について」</b></p> <p>前半は、博物館に展示している鉱業関連展示物（GF型転炉・カラミ電車・型銀秤量器）について解説するとともに、新居浜の産業の歴史を振り返ります。後半は、実際に産業館と屋外展示場を見学します。</p> <p><b>講師 吉村 久美子（科学・産業研究グループ担当係長）</b></p>
4	9月11日	<p><b>「ニホンカワウソのはなし」</b></p> <p>県獣・ニホンカワウソは、県内最後の確実な記録から今年で50年が経過します。開催中の特別展を見ながら、ニホンカワウソのたどってきた道について学びます。</p> <p><b>講師 小林 真吾（自然研究グループ担当係長）</b></p>
5	10月2日	<p><b>「『地震だ！！』その時のために何をする！？」</b></p> <p>耐震化をしている建物としていない建物の揺れによる影響の違い、重要防災グッズの科学的な仕組みなど、たくさんの実験や体験を通じて地震や防災について考えてみましょう。</p> <p><b>講師 三木 綾乃（科学・産業研究グループ学芸員）</b></p>
6	10月30日	<p><b>「ホログラム～光が生み出す不思議な世界～」</b></p> <p>レーザー光で記録した立体写真ホログラムを中心に、虚像を映し出すパラボラミラー、立体映像を知覚するアナグリフやステレオグラムなど、光が作り出す現象を体験しながら、その原理について紹介します。</p> <p><b>講師 進 悦子（科学・産業研究グループ専門学芸員）</b></p>
7	11月27日	<p><b>「宇宙望遠鏡が見せる魅惑の宇宙」</b></p> <p>ハッブル宇宙望遠鏡の後継機であるジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡について紹介するとともに、撮影された画像を通じてさまざまな天体を紹介します。</p> <p><b>講師 鈴木 裕司（自然研究グループ学芸員）</b></p>